

# 柔道競技大会要項

1. 参加資格 夏季大会 中体連加盟校であること。  
新人大会 中体連加盟校の1.2年生であること。  
(1) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めたもので地区・県に登録された者とする。  
(2) ※拠点校部活動や地域クラブ活動の参加資格の詳細については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規程」による。

2. 競技形式 団体戦・個人戦ともにリーグ戦またはトーナメント方式とする。

3. 参加制限 (1) 各校男女団体2チーム以内(男子は1チーム選手5名・補員2名、女子はチーム選手3名・補員1名)とする。男女個人戦は、各階級とも参加制限なし。  
(2) 個人戦の体重区分けは次のとおりとする。

|    |       |       |       |       |       |       |       |        |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 男子 | 50kg級 | 55kg級 | 60kg級 | 66kg級 | 73kg級 | 81kg級 | 90kg級 | 90kg超級 |
| 女子 | 40kg級 | 44kg級 | 48kg級 | 52kg級 | 57kg級 | 63kg級 | 70kg級 | 70kg超級 |

4. 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定・少年規定で行う(2022年改正 新ルール)及び本大会の申し合わせ事項による。  
(2) 試合時間は団体・個人とも3分間とする。団体代表戦及び個人戦の延長戦(GS)は時間無制限とする。  
(3) 勝敗の判定基準は、団体・個人ともに「一本」「技有」または、「僅差(指導の差2以上)」とする。個人戦においては、「指導」差1以内の場合は、延長戦(GS)を行って勝敗を決する。「技有」2つで「一本」とする。  
(4) 延長戦(GS)においては、技による得点がない場合は、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。(改正ルールは適用しない)  
(5) 抑え込み時間は、10秒で「技有」、20秒で「一本」とする。

5. 競技方法 (1) チームの編成は体重の軽い順(先鋒～大将)に編成する。補員起用の場合も体重順に編成する。(但し、3名しかいない場合は先鋒・次鋒を空ける。4名しかいない場合は先鋒を空けた編成とする。)  
(2) 団体戦の勝敗は、チーム間における勝ち数の合計による。勝ち数が同等の場合は勝ちの内容による。それでも同等の場合は、1名による代表戦により決定する。  
(3) 団体戦の代表戦に出場する選手は、試合を行った者からチームで自由選出する。

6. 申込期日 夏季大会 令和7年 5月 7日(水) 午後5時必着のこと。  
新人大会 令和7年 11月 18日(火) 午後5時必着のこと。

7. 申込先 石垣第二中学校内 八重山中学校体育連盟事務局 仲本 英基

8. 表彰 団体優勝チームへ(優勝旗・賞状)  
団体: 5校以上の参加がある場合は、2位まで表彰する。  
個人: 参加人数が5名以上は2位まで、10名以上は3位まで表彰する。

9. その他 (1) 柔道衣にゼッケンを着用して試合を行う。学校名・姓名、男子は黒色、女子は濃い赤色、書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい)  
(2) サイズは縦25cm～30cm、横30cm～35cm、姓名上側3分の2、学校名3分の1横書きとし柔道衣の後ろ襟から5cm～10cm下に縫いつける。  
学校名 例: 石垣中 → 石垣(中は入れない)  
(3) 帯に関しては、女子も男子同様に白線の入っていない帯に統一する。  
(4) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用する。Tシャツのマーキングは、全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。  
(5) 試合においては、絞め技を禁止とし、施した場合には「指導」を与える。故意ではなかったが、絞め技が極まった場合は、「待て」とする。

10. 申込方法 申込書は、団体の部・個人の部それぞれ男女別に提出すること。